

背景

- 2019年から2022年まで、ソーシャルデザインのマインドと実践知を学ぶための人材育成プログラムを開発し、実施検証してきた。
- プログラムを通して受講生が新たな活動をはじめたり、仕事で知見を実践したりする様子が見られ、一定の成果があることがわかった。
- 一方で、各受講生の実践を詳細に記述したものはない。また報告書以外の成果については可視化していないため伝えきれていない。

目的

- SMDを受講したことで、その後の活動にどのような影響があったのかを検証する
- 特に、受講生から事務局運営に参加した人が、どのような影響を受けていたのかを記述する
- 受講生のフォローアップとして現状を確認する
- 研究成果をより分かりやすい形式・媒体でまとめることで、より広く一般の人たちへ知見を還元する。

R4年度の問い

- 受講したことでその後の活動にどんな影響があったのか？
- SMDを通して、どんな気づきや学びがありましたか？
- 他の活動と比較して、SMDの特徴やらしさはどんなところだと思いますか？

対象者

- 3期事務局
 - 後藤裕子さん（2期）、田邊健史さん（2期）、古川晴歌さん（2期）
- 4期事務局
 - 土持莉奈さん（3期）、近藤裕未さん（3期）、沖直子さん（2期）

内容

- インタビュー記事
 - 受講生への個別インタビューを実施。各自の活動内容の紹介やSMDでの学び、SMD後の活動にどのような影響があったのかを取材する。
 - インタビュー内容は別途記事として編集・公開することで、関係者はもちろん、広く一般の人たちへ知見を還元する。
- インタビュー動画
 - 対象者の中で特に活動的なメンバーを選出した上で、インタビューを実施。
 - 動画として公開することで、これまでSMDのことを知らなかった人たちに認知してもらうとともに、本研究への理解と関心を高める。

期間

- 5月 調整
- 6～8月 取材、撮影
- 8～10月 記事・動画作成、公開

成果物

- ①インタビュー記事6本（note）
- ②インタビュー動画1本（youtube）

検証結果

以下のインタビュー記事、及び、インタビュー動画を参照。

<インタビュー記事>

- タイトル：【SMDレポート／後藤裕子さん】地域での活動、かかわり方。このまま進んで大丈夫って、背中を押してもらえた。
- URL：<https://note.com/smd5pj/n/n31a57295c557>
- タイトル：【SMDレポート／近藤裕未さん】自分の活動軸が見つかり、私たちらしいコミュニティづくりに向けて踏み出せた。
- URL：<https://note.com/smd5pj/n/n2c9d83501aa7>
- タイトル：【SMDレポート／土持莉奈さん】得意なことも、苦手なことも。伸びしろを知り、成長につなげることができた。
- URL：<https://note.com/smd5pj/n/n031e663063f0>
- タイトル：【SMDレポート／古川晴歌さん】コミュニティ運営に直結する気づきや学び。次のステージにむけて、背中を押してもらえた。
- URL：<https://note.com/smd5pj/n/n234b9e1e2968>
- タイトル：【SMDレポート／田邊健史さん】人とのふれあいが途絶えたコロナ禍。自分とは異なる視点や気づきとの出会いを与えてくれた。
- URL：<https://note.com/smd5pj/n/n1a4a4364f9c6>
- タイトル：【SMDレポート／沖直子さん】私も、SMDに誘った大学生も。背中を押すきっかけに。
- URL：<https://note.com/smd5pj/n/n80394f5d7352>

<インタビュー動画>

- タイトル：Social Mirai Design Interview Yuko Goto
- URL：<https://www.youtube.com/watch?v=6hKXBJeFByA&t=384s>